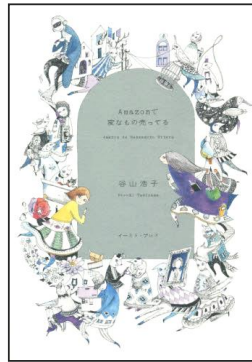




『彼女の色に届くまで』(ニタ)  
似鳥鶏/著 KADOKAWA

高校一年の五月、ある雨の日に、僕は彼女に出会ってしまった。僕の人生を変える彼女に。そして、美術部に所属する僕は、絵画にまつわる数々の事件に遭遇し、彼女に助けられることになる。



『Amazonで変なもの売ってる』(タニ)  
谷山浩子/著 イースト・プレス

ネットショッピングが大好きな姉のミカルは、妹のハルルとAmazonで変なものが売っているのを見つけた。画像も商品名も変。その変なもの「**んぐあをりhkの**」を購入して、送り状にあったURLをパソコンに入力したら、モニターの向こうに広がる不思議な世界へ迷い込んでしまった。



『ホット・イフ? 野球のボールを光速で投げたらどうなるか』(404)  
ランドール・マンロー/著  
吉田三知世/訳 早川書房

野球のボールを光の速さで投げたらどうなる? 元素周期表を現物で作ったらどうなる? 答えは、どちらも非常に危険な結果に!! 空想的な質問に、物理と数学とマンガで答えます。「もし酸素百パーセントの中で呼吸をしたらどうなる?」等の質問に答える『もしイヌに風船をつないだら...?』(マーシャル・ブレインとハウ・スタッフ・ワークス著 化学同人)もあわせてどうぞ。



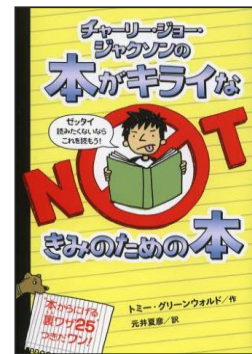
『ジェンナ 奇跡を生きる少女』(Nピア)  
メアリー・E. ピアソン/著 三辺律子/訳  
小学館

交通事故から1年半、ようやく目覚めたジェンナは記憶喪失になっていた。やさしい両親と祖母のもとで、ゆっくりとジェンナは回復していくが、体のあちこちの違和感が、ジェンナを困惑させる。



『はかりきれない世界の単位』(609)  
米澤敬/著 日下明/イラスト 創元社

日光のなかに浮遊する塵の数を測る「トラサレーヌ」。現実と非現実の境界の薄さを測る「アマフランクス」等。近代化とともに使われなくなった単位や、まっとうではない単位、世にもおかしな世界のはかりかた50を紹介。



『チャーリー・ジョー・ジャクソンの本がキライなきみのための本』(Nグリ)  
トミー・グリーンウォルド/作 元井夏彦/訳  
J. P. クーヴァート/絵 フレーベル館

この本が気に入ったきみ! 史上最強の本ギライ=チャーリーが“どうやったら本なんか読まずにハッピーに生きられるか”本から逃げられる裏ワザ25を教えてくれるよ。これ以外の裏ワザを発見したら、私たち司書にもぜひ教えてね!!



『十代のきみたちへ ぜひ読んでほしい憲法の本』(32)  
日野原重明/著 富山房インターナショナル

日野原先生の100歳分の人生経験から出た言葉は、とても貴重であり、真実が伝わってくる。私たち一人ひとりが憲法を自分の問題として考えるキッカケになれば。



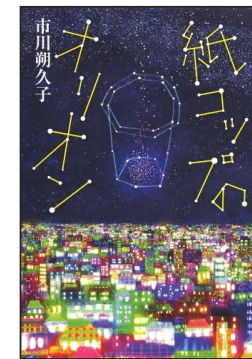
『若草物語 上・下』(BNオル)  
ルイザ・メイ・オルコット/作 海都洋子/訳 岩波書店

父親が従軍牧師として戦地に行ったマーチ家では、美しいメグ、活発なジョー、物静かなベス、おませなエイミーの四姉妹と優しいお母さんとで、少し寂しいけれど明るく楽しい毎日を過ごしています。150年たった今も変わらない女の子たちの気持ちや口げんかにクスッと笑えることも…。



『あなたの知らない奈良県の歴史』(K216.5)  
山本博文/監修 洋泉社

纏向遺跡は卑弥呼がいた「邪馬台国」なのか? 剣豪「柳生十兵衛」の実像とは? 「日本のコーヒーの父」は田原本町の農家の息子だった? 魅力あふれる意外な奈良県の歴史を、古代から近代までQ&Aで紹介。



『紙コップのオリオン』(イチ)  
市川朔久子/著 講談社

論里の母が、突然書き置きを残し旅に出てしまった。中学校では記念行事の実行委員をやることになり、失敗や苦労の連続。その企画のヒントに浮かんだのは、旅先の母の…。



『感じる漢字 心が解き放たれる言葉』(821)  
山根基世/著 自由国民社

「想」は「木へん」に「目」を書いて「心」その人は木を見て、何を想っているのでしょうか。

一文字づつ漢字の成り立ちをひもとくと、漢字に込められた思いに気付く。あなたも漢字の思いを感じてみては。



『おじいちゃんとパン』(726)  
たな/え・ぶん  
パイインターナショナル

おじいちゃんが作るトーストは日替りトッピング。ぼくにも「しかたねえな」とわけてくれる。ちびすけのぼくが大きくなっても。おいしそうなトースト満載のすぐれたレシピ本でもあります。